

いばらき農業アカデミー「先進農業技術講座」を開催します

茨城県農業総合センター農業研究所が参画している農匠ナビ1000(次世代大規模稲作経営革新研究会)の主催により, ICTや省力低コスト技術を活用したスマート水田農業に関する技術展及びシンポジウムを, 開催いたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

1 日時 平成30年8月7日(火)

(1) 農匠技術展 9:00~12:00(入退場自由, 好きな時間にご覧になれます)

(2) シンポジウム 13:00~17:00(シンポジウム受付開始 12:30)

2 場所 つくば国際会議場・多目的ホール(茨城県つくば市竹園2-20-3)

3 定員 80名 【先着順とし, 定員に達し次第, 締め切らせて頂きます】

【今回展示する機器の一部を紹介します】



自動給水機

開放水路用の自動給水機です。水口の開閉の手間が省け, 中干しや間断かんがいにも活用でき, 水管理の作業を省力化できます。



流し込み施肥器

夏場の追肥作業は生産者への身体的負担が大きいです, 用水と一緒に簡単に肥料を流し入れることで, 大幅な省力化を実現できます。また, 安価な固形肥料を使うことでコスト削減も可能です。



いばらき農業アカデミー「先進農業技術講座」

「農匠ナビ1000技術展&シンポジウム2018inつくば」開催要領

—農匠稲作経営技術パッケージを活用したスマート水田農業モデルの全国実証と農匠プラットフォーム構築—

1 目的

「日本再興戦略」（平成25年6月に閣議決定）では、今後10年間で全農地面積の8割を担い手に集約し、米の生産コストを現状の全国平均約1万6千円/60kgから4割削減することが目標として設定された。こうした目標を実現するため、生産コスト低減に向けた具体的な取組として、大規模経営に適した省力栽培技術や品種の導入、ICTを活用した作業管理、及び肥料、農薬等生産資材費の低減に向けた様々な取り組みが行われている。

九州大学を代表機関とした農匠ナビ1000（次世代大規模稲作経営革新研究会）では、平成26年度よりICT等の先端技術を活用し、生産コスト低減・収量向上・省力化の有効性・効果を実証する課題に取り組み、全国的な普及を目指している。

今回の技術展およびシンポジウムでは、この取り組みで開発された技術を幅広く展示・紹介すると共に、世界視点と農家目線でわが国の稲作経営の展望について、稲作経営、農業協同組合、普及・行政・試験研究機関、関連企業の関係者と共に考える。

2 主催 農匠ナビ1000（次世代大規模稲作経営革新研究会）

代表機関：九州大学

共同研究機関：茨城県（農業総合センター農業研究所、県南農林事務所、県西農林事務所）、
福岡県農林業総合試験場、農匠ナビ(株)、東京農工大学、
農研機構農業技術革新工学研究センター

共催 全国農業協同組合連合会

後援 茨城県稲作経営者会議、茨城県農業法人協会、茨城県農業経営士協会、
茨城県青年農業士連絡協議会、茨城県認定農業者協議会 ほか

3 日時 平成30年8月7日（火）

（1）農匠技術展 9:00～12:00（入退場自由）

（2）シンポジウム 13:00～17:00（シンポジウム受付開始 12:30）

4 場所 つくば国際会議場・多目的ホール（茨城県つくば市竹園2-20-3、TXつくば駅から徒歩10分）

アクセス：<https://www.epochal.or.jp/access/>

※ 会場には無料駐車場はございません。自家用車利用の場合は、周辺の有料駐車場をご利用下さい。（料金は、各自ご負担願います。）

5 内容

（1）農匠技術展 9:00～12:00（入退場自由、好きな時間にご覧になれます）

農匠ナビ1000プロジェクト研究成果（茨城県、九州大学、福岡県、農匠ナビ(株)、東京農工大学、
農業技術革新工学研究センター）

関連企業の技術（ソリマチ(株)、ヤンマーアグリ(株)、JA三井リース(株)、積水化学工業(株) 等）

(2) 農匠シンポジウム 13:00～17:00

シンポジウムテーマ：世界視点と農家目線で考えるわが国の稲作経営の展望

「世界視点からみた農匠ナビ1000研究プロジェクトの成果」

九州大学大学院農学研究院教授 南石晃明 氏

「稲作経営者からみたイタリア，アメリカ，コロンビアの稲作」

農匠ナビ(株)取締役副社長，横田農場代表取締役社長 横田修一 氏

「中南米における稲作研究の最新動向」

国際熱帯農業センターCIAT 主任研究員 石谷 学 氏

「コロンビア稲作の現状とSATREPSプロジェクトの取組み」

東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員 小川諭志 氏

「茨城県における省力低コスト高収量生産技術の実証と実践」

茨城県農業総合センター農業研究所 主任研究員 森 拓也 氏

「総合質疑」

6 参集範囲 農業者，農業協同組合，農業関係団体，企業，市町村，県，国 等

7 定員 80名 【シンポジウム参加は先着順とし定員に達し次第，締め切ります】

8 申込み方法 平成30年7月13日（金）までに，別紙申込書にてファックスまたはEメールで事務局へ申込みください。

9 申込先 茨城県農業総合センター農業研究所【担当】森，清水，田中，横須賀

Eメール：ta.mori@pref.ibaraki.lg.jp

ファックス：029-239-7306

(問合限定：電話番号：029-239-7212，平日9～17時のみ)